

AI
オンデマンド
交通



日本版
ライドシェア



シェア
サイクル



高齢者
移動支援



の
っ
て
る
？



3月	6月	定例会は 年4回
9月	12月	

令和7年5月14日発行

No.124

- もくじ
- マイカーだけに頼らない社会へ……………2
 - 市長提出議案……………3～4
 - 提出議案とその結果……………5～6
 - 常任委員会の動き……………7～8
 - 市政に対する一般質問……………9～14
 - 議会日誌……………15
 - 6月定例会日程表(予定)ほか……………16

ぎょうだ
議会
だより



～マイカーだけに頼らない社会へ 行田の「乗り物」に乗ってみませんか～



ワイルドナイツ シェアサイクルはじまりました！

株式会社ゴトーとの連携により、ワイルドナイツシェアサイクルのサイクルポートが設置されました。

スタートセレモニーには、埼玉パナソニックワイルドナイツの長田智希選手がかけつけてくださいました！

- 行田市では、
- 予約に応じた配車を乗合で行うことができる「**乗合型Aーオンデマンド交通**」
 - タクシーが不足する夜間の移動手段を確保するための「**日本版ライドシェア**」
 - 市内外の回遊性向上のためのサイクルポートの設置「**シェアサイクル**」
 - やすらぎの里や老人福祉センターなどへ「**高齢者移動支援**」などにより、マイカーだけに頼らない社会を目指し、地域公共交通の充実を目指しています。
- ぜひ、お出かけにご利用ください。

令和7年度一般会計予算は308億4,000万円 (前年度当初比 7.8%増)

3月定例会には市長提出議案40件、
議員提出議案5件が提出され、
全ての案件を原案のとおり可決・承認しました。

市長提出議案

当初予算

新しい行田の好循環

子育て支援の強化・教育の充実
開発の促進・雇用の創出
交通インフラの整備

令和7年度行田市一般会計予算

(原案可決)

令和7年度当初予算は、新しい行田の好循環の実現のため、将来の成長を見据えた投資的事業へ重点的に予算を配分します。

基本構想で掲げた将来像の実現に向けて、「子育て支援の強化・教育の充実」「開発の促進・雇用の創出」「交通インフラの整備」の3つの重点施策に取り組み、『新しい行田』への種まきをさらに強力に押し進めます。

○子育て支援「こどもまんなか」

国に先駆けて実施している3歳未満児の保育料無償化をはじめ、おうち子育て支援事業の一環として実施している「こども誰でも通園制度」を拡充するほか、18歳までの子ども医療費無償化も引き続き実施します。

また、「栗原宣言こどもの居場所基金」を原資に、多世代が交流できるこどもの居場所づくりを進めます。

教育の充実では、学校再編が市のまちづくりの最重要事業となります。また、行田ならではの特色ある教育環境を整備することし、それに先駆けて英語教育の強化を行います。

○開発の促進と雇用の創出

開発を促進する上で大きなハンデとなっている都市計画の考え方を見直し、都市計画マスタープランの改訂とあわせて立地適正化計画と地域公共交通計画を関連づけて策定することにより、企業立地や開発の可能性があるエリアを明確に把握できるようになりました。さらに、埋蔵文化財の先行試掘調査等を引き続き実施することにより、企業誘致を促進します。

○交通インフラの整備

交通インフラの整備として、引き続き国道17号バイパスの高速道路化と市内へのインターチェンジ設置に向けての要望活動を進めます。

地域公共交通としては、マイカーだけに頼らない社会を目指し、地域公共交通を「福祉」と「経済」の観点から充実させます。

【主な質疑】

○敬老お祝品引換事業

問 令和6年度も同様の事業を実施しているが、どのように変わるのか。

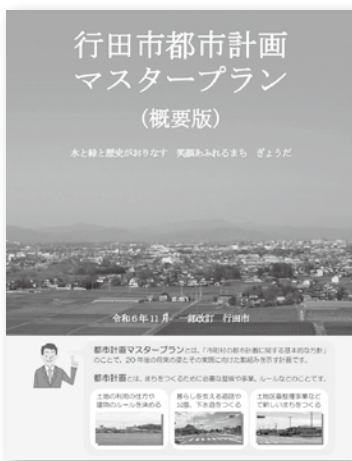
答 75歳以上を対象として市長からお祝いのメッセージを送ること、記念品をお渡しすること及び高齢者優待制度を実施することの3点が大枠であることに変わりはない。

記念品の内容について、令和6年度は古代蓮会館の入場券等をお送りしていたが、令和7年度は市内店舗等で700円相当の商品や食事等と引換えできる引換券を贈呈する。

○戸別訪問収集委託料

問 対象者や内容等の詳細は。

答 自ら集積所にごみを持ち出すことが困難であり、かつ他の福祉サービスでの対応または親族、近隣住民等の協力を得られない、要介護認定を受けている65歳以上の方や身体



障害者手帳1級または2級の方のみで構成された世帯等を予定している。原則として週1回、粗大ごみを除く家庭ごみを委託事業者が自宅前まで回収に伺う予定である。

○英語のできる行田っ子育成事業

問 現状の行田っ子の英語力をどう分析しているか。

答 英語力を数値化した指標としては、埼玉県学力・学習状況調査があるが、英語の調査が実施される中学2年生、3年生において、平均正答率が県平均を下回る結果となっている。

問 この事業の目標はどこか。

答 行田市ならではの特色ある教育の一環として英語教育を強化、充実させることで、子どもたちの着実な英語力の向上を図るとともに、英語を身につけることで、これからのグローバル社会を生き抜く力を育てることを大きな目標に掲げ、取り組むものである。

○学校再編事業

問 義務教育学校施設整備基本構想の策定の時期や内容は。

答 現在策定中の義務教育学校設置に向けた再編計画個別編を踏まえ、新校における校舎及び教室等の配置や施設に求められる機能、施設整備

に係る概算費用などを具体的に示し、より具現化した義務教育学校のイメージを伝えるための重要な計画である。

特別会計 特別会計合計額は 234億円余

○令和7年度の各種特別会計予算

(全て原案可決)

国民健康保険事業費特別会計など4特別会計の令和7年度当初予算は合計で164億5228万8千円です。

また、公営企業会計当初予算は、水道事業会計が32億9306万9千円、公共下水道事業会計が37億3861万9千円です。

●特別会計予算及び公営企業会計予算 (単位:千円)

会計名		予算額	対前年増減額	増減率%
特別会計	国民健康保険	7,810,386	△ 80,481	△ 1.0
	交通災害共済	28,374	616	2.2
	介護保険	7,235,514	290,158	4.2
	後期高齢者医療	1,378,014	17,187	1.3
	合 計	16,452,288	227,480	1.4
公営企業会計	水 道	3,293,069	△ 285,271	△ 8.0
	公 共 下 水 道	3,738,619	287,661	8.3
	合 計	7,031,688	2,390	0.0

条 例

法改正に伴う条例の改正等

○行田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

(原案可決)

児童福祉法に基づき、国が定める乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準（令和7年内閣府令第1号）が新たに交付され、令和7年4月1日から施行されることになったことから、本市においても国の基準に従い、条例を新たに策定します。

○行田市景観条例

(原案可決)

本市の歴史、自然、文化及び生活と調和した良好な景観の形成を図ることで、市民の誇りと愛着を育み、住みたい、訪れたいと感じられるまちの実現に向け、地域の特性を生かした良好な景観の形成等に関する事項を定めるため、新たに条例を制定するものです。

補正予算 補正総額 2億7863万円余

12月定例会後、国の物価高騰重点支援地方創生臨時交付金を利用した物価高騰対策をはじめ、事業実施のための所要経費を措置するものです。歳出の主な内容は、物価高騰対策

として、民生費では、住民税非課税世帯1世帯あたり3万円及び当該支給対象者の世帯員である18歳以下の児童1人あたり3万円の子ども加算分を支給する住民税非課税世帯物価高騰重点支援給付金を7800世帯、子ども加算として1200人分のほか、事務費を措置します。

衛生費では、市民や市内事業者の経済的な負担を軽減するため、3月及び4月検針分の水道基本料金を2か月分免除するとともに、商工費では、市内での消費喚起を図るため、プレミアム付商品券事業を実施するための費用を措置します。

消防費では、自然災害で避難所生活の長期化が想定されるため、市内事業者からの寄附金を活用し、簡易トイレ及びそれを覆う簡易テントを備蓄するための予算を措置します。

総務費の基金費では、昨年9月に行田羽生資源環境組合において、今後の財政負担に備えるため、基金へ積み立てるものです。また、老朽化する公共施設の更新に備えるため、公共施設整備基金への積立ても行います。

なお、これらの歳出を賄う財源として、国・県支出金、寄附金、繰越金及び諸収入を措置するものです。

(市長提出議案)

(賛成:○ 反対:×)

議案 番号	議案名	議決 結果	令和研究会								蒼倫維新				公明党			日本 共産党				
			小林 淳一	駒見 行彦	新 諒平	村田 清治	小林 修	橋本 祐一	福島 ともお	町田 光	野本 翔平	梁瀬 里司	香川 宏行	岩崎 彰	小野 寺貴男	養田 英雄	吉田 豊彦	大屋 彰	木村 博	田中 和美	村田 秀夫	斉藤 博美
(議案) 第1号	専決処分の承認を求めるについて (令和6年度行田市一般会計補正予算 (第8回))	承認	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2号	専決処分の承認を求めるについて (損害賠償の額を定め、和解すること について)	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3号	令和6年度行田市一般会計補正予算 (第9回)	可決	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第4号	令和6年度行田市国民健康保険事業 費特別会計補正予算 (第2回)	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5号	令和6年度行田市介護保険事業費特別 会計補正予算 (第1回)	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第6号	令和6年度行田市水道事業会計補正 予算 (第1回)	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第7号	令和7年度行田市一般会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第8号	令和7年度行田市国民健康保険事業 費特別会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第9号	令和7年度行田市交通災害共済事業 費特別会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号	令和7年度行田市介護保険事業費特別 会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
第11号	令和7年度行田市後期高齢者医療事 業費特別会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
第12号	令和7年度行田市水道事業会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
第13号	令和7年度行田市公共下水道事業会 計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
第14号	行田市個人番号の利用に関する条例 の一部を改正する条例	〃	○	○	○	棄権	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
第15号	刑法等の一部を改正する法律の施行 に伴う関係条例の整理に関する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第16号	行田市職員の勤務時間、休日及び休 暇に関する条例の一部を改正する条 例	〃	○	○	○	○	○	○	○		長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第17号	行田市職員の給与に関する条例の一 部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第18号	行田市特別職の職員で常勤のもの の給与に関する条例の一部を改正する 条例	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	
第19号	行田市職員の退職手当に関する条例 の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第20号	行田市職員の育児休業等に関する条 例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	棄権	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第21号	行田市会計年度任用職員の報酬等 に関する条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第22号	行田市税条例の一部を改正する条例	〃	○	○	○	棄権	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
第23号	行田市都市計画税条例の一部を改正 する条例	〃	○	○	○	棄権	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	

※議長は採決に加わりません。(可否同数の場合は議長裁決となります。)

提出議案とその結果

(市長提出議案)

(賛成:○ 反対:×)

[illegible]

(議員提出議案)

[illegible]

(動議)

令和7年3月19日 発言の取消しを求める動議が提出され、賛成多数をもって可決

※議長は採決に加わりません。(可否同数の場合は議長裁決となります。)

常任委員会の動き

○審査概要・活動

総務文教常任委員会

○行田市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

問 勤務環境の整備に関する措置として、具体的な考え方は。

答 職員が仕事と介護の両立を図りながら働けるよう、制度の趣旨を踏まえ、働きやすい環境整備に努めていく。

○財産の貸付けについて

問 旧太田東小学校について、貸付料基準額を下回る金額で民間事業者に貸し付けることに関し、施設の利活用に当たっては、災害時の避難所機能を維持することや施設の維持管理を事業者が負担することを条件としており、維持管理費用が軽減されることだが、年間でどのぐらいの経費節減を見込んでいるのか。

答 令和5年度の決算における維持管理費では、547万4118円となっており、年間約500万円の削減効果があるものと考えている。

令和7年度行田市一般会計予算

○移住定住促進事業

問 事業の成果・効果は、どのような指標を考えているのか。

答 移住促進事業については、子ども施策をはじめ、あらゆる施策を含めて総合的に移住促進に取り組むことから、事業効果としては、社会増を目指して進めていきたい。



『行田市移住定住パンフレット 2024』

○教育アドバイザー

問 どのような方を選任するのか。

答 本市における教育課題や教育行政全体にわたる特に重要な施策に対して、政策的な見地からの調査、あるいは助言などの支援を考えており、そういったことに関して専門的な知識や経験、識見のある方を選任したいと考えている。

○校務活用支援システム活用事業

問 システムを活用することによ

り、負担軽減や業務効率化はどの程度図られるのか。

答 当面は、教員の業務時間の短縮などにより、指標を測っていくことになると思うが、それによって、教員の指導力が上がり、子どもたちの学力が上がるというところを最終的な目的としている。

○総合公園弓道場の更新事業

問 老朽化に伴う弓道場の更新工事後、リニューアルした施設の有効活用について。

答 施設の有効活用を検討した中で、和を基調とした施設であることから、文化芸術の振興などを想定している。そういった中で、今回、こけら落としのお披露目として、和を基調とした和楽器のコンサートを計画している。なお、事業費については、クラウドファンディング型ふるさと納税及び企業版ふるさと納税を予定している。

建設環境常任委員会

○行田市景観条例

問 景観づくり推進地区及び重点地区の具体的な区域はあるのか。

答 景観づくり推進地区としては、秩父鉄道行田市駅周辺、市役所や忍城、水城公園の周辺などを考えてい

る。重点地区については、八幡通りなどが既に景観整備されているため、候補になるものと考えている。

問 景観審議会の学識経験を有する者とは、どのような方か。

答 景観という部分に精通している方を想定している。

問 条例制定を本定例会に上程した理由は。

答 行田らしいまち並みづくりや賑わいの創出基本計画などにより、景観づくりの認識が高まっている状況において、今後、本市の景観を維持・保全するためには、今回の条例制定が良い時期と考えている。



令和7年度行田市交通災害共済事業費特別会計予算

問 前年度繰越金が多額であることに関し、どう考えているのか。

問 会費収入に対して、交通事故の件数が少なかったことなどにより、見舞金の総額が少なかったことが要因である。今後は、制度全体の見直しが必要と考えていることから、今後、検討していきたい。

令和7年度行田市一般会計予算

○スマート農業推進事業

問 スマート農業機器などの導入実績や活用方法について。

答 これまでの実績では、自動操舵システム、農業用ドローン、あるいは集積化に係る畦畔の撤去などに活用されている。



○電機機器設置工事請負費

問 指定避難所である泉小学校への非常用発電装置の整備に関し、発電機の使用可能な範囲、また、他の施設への設置計画はあるのか。

答 電力容量からすると、校舎2階フロアの使用を想定している。他施設への設置については、設置後の効果検証をした後に、各施設でどのように使用できるか、また、国の補助金等も含め、設置の可能性について、調査研究していく。

○橋りょう点検委託料

問 点検方法について。

答 市が管理する橋長2m以上の690橋を5年に分けて点検するもので、近接目視による点検、打音や触診のほか、必要に応じて非破壊検査等により実施している。

健康福祉常任委員会

○行田市敬老祝金条例の一部を改正する条例

問 今回条例を改正する理由は。

答 同じ学年であっても年齢到達日によって受け取る年度が異なっている現行の仕組みについて、敬老事業検討打ち合わせ会議等から見直しの要望があったことから、同学年の者が同時期に受け取れるように改正しようとするものである。

問 既に祝金を支給した方が誕生日前に亡くなってしまう場合には、返還等の対応はするのか。

答 長寿を祝福するということを目的に、9月15日現在で住民票がある方に支給することから、返還等は考えていない。

問 保護者等からの苦情受付窓口を設置とあるが、市が窓口となるのか。

答 基本的な苦情対応は事業者となるが、内容次第では市も適切に対応させていただく。

問 こども誰でも通園制度のこれまでの利用者割合は。

答 1月末時点のLINEの登録者数は229名となっており、利用者割合は登録者の72%となっている。

令和7年度行田市一般会計

○子ども等多世代の居場所づくり支援事業

問 子ども食堂等をどこでやっているか周知不足であると感じるが、その点はどのように考えているのか。

答 現在は、子ども食堂等の統括団体である行田こども居場所ネットワークが作成しているホームページや各小学校へのチラシ配布等で周知を行っているが、今後は市においても周知について協力を検討していきたい。

○通いの場乗合型Aーオンデマンド交通利用補助金

問 半額補助とのことだが、帰りの補助だけなのか。行きはどのように行くのか。

答 本市の通いの場合は、やすらぎの里、永寿荘及び南河原荘の3施設であるが、利用者には自身で通いの場まで来ていただき、帰り分の全額チケットをお渡しすることで、往復の半額補助とするものである。

○消防車両更新事業

問 消防ポンプ自動車2台を更新予定とのことだが、古い車両はどうする予定か。

答 政府から発展途上国の国々に対して協力要請があることから、本市においては、日本外交協会や日本消防協会といった団体を通して、海外への寄贈を考えている。



新型消防車両イメージ

市政について、
各議員がみずからの政策提言も含めて、
市に考えを聞くのが「一般質問」。
3月定例会では17人の議員が一般質問を行いました。

一般質問

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館でご覧いただけます。
※3月定例会の会議録は6月に発行予定です。

◆インターネット議会中継

市議会の様子(生中継・録画映像)をパソコンやスマートフォンでご覧いただけます。
また、各議員の写真脇にあるQRコードから一般質問の録画映像をご覧いただけます。



専用アプリで読み取ると
議会中継がご覧いただけます。

行田市における街なかの魅力発見と 賑わい創出の取組について

田中 和美(公明党)



消滅可能性自治体から脱却
できるかの不安や変化への抵
抗感もあるが漠然とした閉塞
感を払拭し元気な街にしたい。

問 市民の街なかに対する意
識調査などの結果はどうか。

答 基本構想策定のためのア
ンケート調査では、観光客で
賑わうまちや由緒ある歴史と
文化で格調高いまちの期待度
が低い結果であった。

問 行田市基本構想では観光
光客たちが街なかを歩き回る
姿が謳われ目指すべき将来像
としているが、市民の意識と
の乖離をどうしていくか。

答 まちなかウォークアブル事
業で歩きやすい環境を整備し、
市民の積極的参加のまちづく
りで意識の醸成を図っていく。

問 落語や漫才等足袋蔵を行
田演芸場として活用はどうか。

答 多角的検討が必要である。

問 各業種の店舗や施設の情
報を盛り込み利便性の高いス
タンプリリー形式の総合的な
マップを取り入れてはどうか。

答 関係団体などと連携して
検討を進めていきたい。
他 プレコン・除草対策

JR行田駅周辺の整備と市有地の 有効活用について

斉藤 博美(日本共産党)



問 交番前スペースは観光案
内所と一体で活用できないか。

答 物産販売等調査研究する。

問 駅近の市有地①は有効活
用されているか。またメイ
ン通り②の好立地にゴミ集積所
があるのはどうか。市自ら土
地の価値を下げていないか。

答 ①は一時的に職員が駐車
しており来年度以降売却する。
②は今後処分を検討していく。

問 駅前一等地③は一時的に
地域にグラウンドゴルフ場と
して無償貸与したが近年利用
も乏しい。除草に年約60万円
では対外的な活用が必要では
ないか。

答 駅前の活性に有効な土地
と認識。処分方法を検討する。

問 鴻巣市の区画整理事業で
吉里山駐輪場利用がさらに増
えるが同市と協議が必要では
ないか。

答 空いている水路駐輪場へ
誘導する。情報は共有したい。





行田市の観光行政の取組について

駒見 行彦(令和研究会)



問 岸和田市に視察で訪れた際「オシロロボット」カードをいただいた。お城を有する市内の市町村が登録するもので、本市においても「オシロロボット」へ登録し更なるお城ファンの獲得に向け取組んでみてはどうか。

答 本市としても、忍城とロボットを組み合わせた取組は大変話題性があると認識しており、先進自治体の取組を参考に導入について検討してまいりたい。

問 田んぼアート稲刈り後の跡地有効活用について、市内にある園芸専門学校テクノ・ホルティやものづくり大学との連携事業や市内NPO等との共催を考えてはどうか。

答 過去に市内で花いっぱい運動を行い連携したことがある。

今後刈取り後の活用を検討する中で、この2校に限らず、効果を高めるため連携の可能性について考えていく。

スマート農業と

6次産業化を重点分野に

新 諒平(令和研究会)



問 これまで市は「雇用を生む企業ならどこでもいい」との方針だったが、重点分野を定めるべきでは？

答 特定の産業に絞るのではなく、雇用を生む企業を幅広く誘致する方針だが、行田市の基幹産業である農業には特に注力し、スマート農業の導入と6次産業化を推進する。

農地の集積や法人化、スマート農業関連の研究施設の誘致を進め、農業を成長産業として育てる。

問 重点課題に「産業の創出と雇用の促進」が掲げられているが予算が少ないのでは？例えば、令和7年度の企業誘致促進事業の予算は十分なのか？

答 企業誘致促進事業の予算は約954・3万円で、埋蔵文化財の試掘や企業誘致活動の調査に活用。企業立地のための環境整備は進めているが雇用創出に直結する施策への予算は十分ではない。ただし、企業誘致方針を具体化する中で、支援制度の導入も含めた今後の施策を検討する。

企業誘致および行田の産業について

小林 淳一(令和研究会)



問 埋蔵文化財の先行試掘調査の進捗状況について。

答 9地区26箇所の調査を実施済。来年度も8地区27箇所の調査を予定している。

問 農業従事者の推移は。

答 農家数は10年間で約3割減少し、農業従事者数は約4割減少している。

問 6次産業化の具体的な事例はあるか。

答 行田在来青大豆の商品開発・販売促進協議会が独自の商品を販売し、試作品の開発も進んでいると聞いている。

問 植物工場の設置や誘致は可能か。

答 農業振興地域の整備に関する法律や農地法の基準を満たせば、立地の見込みはある。

〔その他の主な質問〕

○市役所および市役所周辺の駐車場利用について





小野 寺 貴 男 (蒼倫維新)

市役所が人口減少の一丁目一番地となるために

問 女性管理職の状況は。

答 直近5年間の主幹級以上の女性職員の割合は10%前後で推移しており、本年度は13・6%である。

参考

鴻巣市	30・7%
加須市	24・2%
熊谷市	20・7%
羽生市	8・5%

状況の改善のため、引き続き、仕事と家庭を両立できる職場環境の整備をはじめ、女性職員のキャリアアップへの心理的不安に対する支援、研修や派遣などを通じた人材育成、女性活躍の意識啓発などを一体的に継続的に行うことにより女性職員の一層の活躍を推進する。

問 女性管理職の割合が低いことによるデメリットは？

答 女性管理職のロールモデル(考え方や行動の模範になる人物)が生まれにくく、昇任に対して消極的になることや、多様な視点による施策の実現が難しいことが挙げられる。また、組織としても、多様性、柔軟性に欠ける面もあると考える。

ネーミングライツの導入による財源確保について

橋 本 祐 一 (令和研究会)



問 ネーミングライツとは、

公共施設の名前を付与する命名権と、附帯する諸権利のことで、スポーツ施設などに企業名や社名をつけることであり、公共施設の命名権を企業が買収ビジネスである。施設の維持管理費の軽減が期待できる。現在、行田市のグリーンアリーナに空調設備を導入する事業が令和8年度完成予定で進められており、空調が整えばオールシーズンスポーツ等の大会のほか様々なイベントが利用可能となる一方で、経費の増大が予想される。

ネーミングライツ導入により少しでも財源の確保を考えることはどうか。

答 来年度メインアリーナ及びサブアリーナに空調を整備し、利用環境等の向上を図ることとしている。契約内容によつては施設の運営や利用に制限が生じる可能性があることなどから、既に実施している他の自治体の事例を参考に導入を調査研究していく。

【その他の主な質問】

○公共施設での喫煙対策

観光施策とにぎわいのまちづくり ／経費削減と働き方改革



香 川 宏 行 (令和研究会)

○はちまんマルシェと軽トラ朝市について

問 はちまんマルシェへの出店者や来場者が減少していると感じる。現状における課題や今後の展望への考えは。

答 生産者等で構成する行田はちまんマルシェ実行委員会で運営方法等を協議しているが、出店者数と来場者数を増やすことが課題である。

地域の皆様からの積極的なご協力をいただいており、引き続き地域に根差した魅力あるマルシェを開催していく。

問 全市民が楽しめる軽トラ朝市を復活させるのはどうか。

答 農家の皆様の参加意向や、はちまんマルシェとの関係性を考慮しながら検討していく。

○選挙投票時間の短縮

問 投票日の選挙事務への従事時間を減らすことが、経費削減と、職員の働き方改革につながるのではないか。

答 人件費の削減や体力的負担の軽減に資するが、投票所の開閉時刻は公職選挙法に定められており、閉鎖時刻の繰り上げ等は困難と考える。

英語教育をすべての園児まで拡大を

梁瀬里司(令和研究会)



問 市では、令和6年度より「英語のできる行田っ子育成事業」として「外国語指導員派遣業務委託」を実施しており、市内の幼稚園8園にて、年少から英語の学習を行っている。そこで、この事業を市内全保育園にまで拡大できないか。

答 保育園への事業拡大については、本事業の効果を十分に分析するとともに、先進自治体の取組等を調査するなど研究を進めていく。

問 八幡通りにトイレの設置を創出の場とするため、事業を行っているが、おもてなしとして、公共トイレを設置できないか。

答 トイレの必要性は十分認識しており、令和7年度から実施する「まちなかウォーカブル推進事業」において、令和11年度を目途に新町通り沿いに設置していく予定。

【その他の主な質問】

○道路の安全対策（陥没等）

○熱中症対策（水城公園）

○クビアカツヤカミキリ対策

スターバックス誘致問題～ 反対署名発起人宅への訪問について

村田秀夫(日本共産党)



問 市は署名者や署名発起人宅を訪問して、損害賠償の言葉まで出して取り下げを求めたとのことだが、市民の請願権や個人の思想・良心の自由を侵すことではないか。

答 署名活動を行い市に請願したことについて面会を申し入れたのではない。出店に向けた契約を阻害した方々に対する面会で、市に請願を行ったことには触れておらず侵害にはあたらない。

問 市の職員が訪問することの重さに思いが至っていないのではないか。撤回用紙まで用意して置いていくその行為だけで相手は翻意を促す説得活動だと思ってしまう。署名の中に疑問があっても一定の不確からしさを含んだ要望書が提出されたとして受け取ればよい。違憲判決の判決文は、高度な尊重を要する権利だから一々確かめ住民を委縮させてはいけないと述べているのではないか。

答 訪問は事実に関する説明をしただけで、表現の自由、請願権の侵害には当たらない。

財源の確保について

養田英雄(蒼倫維新)



問 行田市郷土博物館の入館料は適正か。

答 公立博物館の入館料は原則無料であることを踏まえると、入館料は適正である。

問 現行の入館料に設定されたのはいつか。

答 平成5年9月に改定した。
問 古代蓮会館の入館料は適正か。

答 現在の入館料は平成12年度に定めたものである。料金を据え置いた中で多くの方に来ていただくという考えもあるが、稼げる観光施設として位置づけていくことも必要であると認識している。

問 敬老祝金は減額すべき。

答 減額を含めた敬老祝金の見直しについては、行田市敬老事業検討打ち合わせ会議における意見等を踏まえ適切に対応していく。

問 埼玉県内の敬老祝金支給状況から本市は比較的恵まれていると思うが、見解を伺う。

答 県内の各市町村の敬老祝金の状況から本市の敬老祝金が恵まれているかどうかは、一概には申し上げられない。



木村 博(公明党)

水道事業の安定化について

- 問** 人工衛星とAIによる水道管の漏水調査を行うことにより、調査期間の短縮と経費の削減が図られたという報告があるが、本市の見解を伺う。
- 答** 本調査は、衛星画像データとAIで解析し、漏水可能性区域を抽出するもので、技術の向上や全国的な普及により、漏水発見の精度やコストの削減が図られていることから、導入について調査研究していく。
- 問** 県営水道の受水に伴う余剰圧力を利用した小水力発電施設の設置について民間事業者から提案があったと聞いているが本市の見解を伺う。
- 答** 水道事業へのリスクを充分に考慮し、市民の安全・安心の観点を総合的に判断した上で、歳入確保の観点から今後も積極的に検討していく。
- 【その他の主な質問】**
- 新ごみ処理施設整備運営事業について
 - 下長野用水路改良後の道路整備について
 - 学校部活動の地域移行について

5歳児健診支援事業について

大屋 彰(公明党)



- 「5歳は、社会性が高まり、発達障害が認知されやすい時期であること等を踏まえ、乳幼児の発育・発達や健康の維持・増進、疾病の予防、悩みを抱える保護者等の早期発見や支援、児童虐待の予防・早期発見等の観点から、5歳児健診検査の実施に係る支援を進め、全国展開を目指す。」と5歳児健診ポータルにて周知されている。
- 問** 本市での5歳児健診の取り組みは。
- 答** 5歳児健診は母子保健法に規定する乳幼児健診に位置づけられていないことから本市では現在実施していない。
- 問** 国の動きとして5歳児健診の全国展開が図られる社会を2028年度目指す、とあるが本市の考えは。
- 答** 専門職の確保と、健診で指摘をするだけでなくその後適切な支援ができるかが重要になる。2028年度を目指すのではなく、早期に体制整備ができるように取り組んでいきたいと考えている。



福島 ともお(令和研究会)

敬老お祝品引換事業について

- 問** 「敬老お祝品引換事業」についてどのような内容及び目的なのか。
- 答** 本事業は、高齢者に対して敬老の意を表するとともに、地域経済の活性化を図ることを目的に、令和7年度から新たに実施するもので、75歳以上の高齢者を対象として、市内店舗等で700円相当の商品や食事等と引換えができる引換券を贈呈する。
- 令和6年度に75歳以上の高齢者を対象として実施した古代蓮会館の入館及びお買物チケットの贈呈について、市民の方からの「古代蓮の里まで行く移動手段がない」といった声を踏まえ、事業内容を検討して見直し、令和7年度に新たに実施する。
- 引換券と交換可能な商品や食事等を写真つきで掲載したパンフレットを作成し、75歳以上の高齢者全員に引換券と合わせて郵送する予定である。高齢者優待制度と併せて周知することで、多くの高齢者の方にご利用いただけるよう努めていく。

快適な住環境の整備の 太陽光発電施設の設置について

小林 修(令和研究会)



問 現在、再生エネルギーの推進のため導入コストが比較的安く、導入のポテンシャルの高い太陽光パネルによる太陽光発電施設が民間事業者により市内各所に設置され、土地利用されている。災害リスクや生態系への影響がなく、また、景観阻害、住環境悪化及び貯留機能低下等による雨水流出を防止し、良好な生活環境の保全に寄与しながら進めることが大事であるため、発電施設の設置や維持管理を含めた、適切に管理するための実効力のある条例の制定は。

答 条例を制定する場合、抑制区域であるとか、制限をする地区を設けることが多く、現段階では、自然災害や景観など、市として、どうしても規制しなくてはならない場所を特定するのが難しい。市内において発電施設が増加傾向にある状況に鑑み、まずはガイドラインの整備を進めていきたい。

【その他の主な質問】

○農業経営の安定化について

○安心安全の確保について

特殊詐欺対策／はにわの館



岩崎 彰(蒼倫維新)

市全体で防犯意識を持ち抑止力を高め電話による特殊詐欺を未然に防ぐ為に、行田市

の被害の現状と対応策を訊く。

問 特殊詐欺対策機器の購入補助金の利用実績について。

答 令和7年1月末時点で、76件63万4千円の申請受付。

2機種を交付の対象とし、全申請者が着信時に警告音を

発し自動的に通話内容を録音する機種を選択している。

問 平均補助金額はいくらか。

答 1件平均8千3百円。

問 令和7年度も申込みめるか。

答 議会でも7年度予算の議決後、補助金の申請ができる。

「はにわの館」の価値を再認識し、はにわ作りを通し古墳公園への集客に繋げる為に。

問 はにわの館の魅力は何か。

答 常時はにわ作り体験が出来る施設は全国的に珍しい。

問 古墳や埴輪に関連する取組をする伊勢崎市・本庄市等との連携により自治体相互の誘客に取組む考えはあるか。

答 相互に誘客することは大変有効と考えている。連携について模索をしていきたい。

民間企業との災害時応援協定の 連携強化を図る考えはあるか

村田 清治(令和研究会)



問 現在、災害時応援協定を締結している民間企業が83社あるが、災害時応援協定を締結して終わりではなく、災害を想定して訓練を実施することが有るの際に役立つと思うがどう考えているか。

答 現在、民間企業との災害時応援協定の拡充に努めており、本年度は10件の災害時応援協定を締結し、様々な分野にわたる民間事業者の方にご協力いただきながら、協定締結の推進を図っているところである。

また、民間企業との連携を図るため、昨年、6月25日には、行田市防災協議会及び行田市水道工事協同組合とのメールによる情報伝達訓練、本年1月31日には、市内社会福祉施設との福祉避難所の開設訓練など、事業者との訓練を実施している。

【その他の主な質問】

○県が発表したドローン等による集団防除について。

○病害虫防除協議会を設置する考えはあるか。

2月

- 13日 議会運営委員会
- 19日～3月19日 3月定例会
- 20日 議員説明会
- 20日 幹事長会議
- 26日 議会運営委員会

3月

- 3日 議会運営委員会
- 4日 幹事長会議
- 4日 議会運営委員会
- 4日 議会だより編集委員会
- 17日 議会改革推進委員会
- 19日 議会運営委員会
- 19日 幹事長会議
- 19日 議員説明会

4月

- 4日 議員説明会
- 11日 埼玉県市議会議長会
第4区議長会定期総会
- 15日 埼玉県市議会議長会定期総会
- 17日 関東市議会議長会定期総会
- 23日 議員説明会
- 23日 ハラスメント防止条例検討委員会
- 30日 議会だより編集委員会

5月

- 7日 埼玉県久喜市行政視察来庁
- 9日 埼玉県上尾市行政視察来庁
- 12日 議会改革推進委員会
- 13日 宮城県名取市行政視察来庁
- 14日 議会だよりNo.124発行

令和6年度埼玉県市議会議長会の会長市を務めました



行田市は、令和6年4月22日に前会長の熊谷市から引継ぎ、令和6年度埼玉県市議会議長会の会長市を務めました。

この一年間は会長市として、全国及び県内の様々な事業や行事に参加いたしました。

令和7年4月15日に行田市商工センターにおいて令和7年度埼玉県市議会議長会定期総会が開催され、次年度会長である上尾市に引継ぎを行いました。

今後は、この一年間に得た経験や人脈等を、行田市議会運営に活かしてまいります。

議員行政研修会

令和7年2月8日に、埼玉県市議会議長会会長市として、行田市商工センターにおいて「議員行政研修会」を開催し、埼玉県内の市議会議長、副議長等が出席しました。

当日は講師に跡見学園女子大学教授の鍵屋一氏をお招きし、「自治体防災対策と議会・議員の役割」をテーマに講演をいただきました。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の影響が残る中、激甚化する災害の発生に備えるために何がなかを中心に、地方議会としての役割や、災害時の議会・議員の使命など効果的な対応について学びました。

また、災害時に議会・議員がするべきことと同時に「してはならないこと」について改めて自覚するとともに、各自治体の課題の解決に向け、議員として、議会として進むべき方向を見定め、導いていくよう取り組んでまいります。



市議会を傍聴してみませんか

6月 行田市議会定例会 日程表(予定)

6月定例会は6月3日(火)
開会予定であり、
日程(案)の決定は5月28日(水)
予定の議会運営委員会で
決まります。



市議会には定例会(3月、6月、9月、12月)
と、必要がある場合に開かれる臨時会とが
あります。
議場は市役所の3階にありますので、
エレベーターをご利用ください。※定員50名

日	月	火	水	木	金	土
6/1	2	3 本会議/招集日 (提案説明・細部説明)	4 (議案調査)	5 (議案調査)	6 本会議 (議案質疑)	7
8	9 本会議 (一般質問)	10 本会議 (一般質問)	11 (休会)	12 本会議 (一般質問)	13 本会議 (一般質問・委員会付託等)	14
15	16 (議案調査)	17 建設環境 常任委員会	18 健康福祉 常任委員会	19 総務文教 常任委員会	20 (事務整理)	21
22	23 (事務整理)	24 (事務整理)	25 本会議/最終日 (委員長報告・質疑・討論・採決・閉会)	26	27	28

※日程は予定であり、変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

健康管理のため、傍聴席で

「水分補給」が可能となりました。

【水分補給に関する注意事項】

*飲み物は「水・お茶・麦茶」に限ります。

*容器はペットボトルもしくはマイボトルに限ります。



ペットボトルもしくはマイボトル



水・お茶・麦茶以外は禁止

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
町田	大屋	養田	村田	小林	新	駒見	岩崎
光	彰	英雄	秀夫	淳一	諒平	行彦	彰

編集委員

(編集委員長 岩崎 彰)

早いもので、現在構成する
編集委員(内1期生6人)が
手掛けた『議会だより』は、
今号で8回を数えます。
市民の皆様がより関心を持
ち手に取って頂けるようにと
の思いを委員全員が共有し、
編集に取組んで参りました。
思いを四字熟語で表現すると
・暗中模索(あんちゅうもさく)
・侃侃諤諤(かんかんがくがく)
・山溜穿石(さんりゅうせんせき)
少しでも『議会だより』が
皆様にとって身近なものとな
っていただければ幸いです。

編集後記